

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月12日

【四半期会計期間】 第95期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

【会社名】 神鋼商事株式会社

【英訳名】 Shinsho Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 村瀬 敬一

【本店の所在の場所】 大阪府中央区北浜2丁目6番18号 淀屋橋スクエア

【電話番号】 (06) 6206 - 7010

【事務連絡者氏名】 経営企画部経理担当部長 渡部 泰幸

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋1丁目2番5号 栄太楼ビル

【電話番号】 (03) 3276 - 2104

【事務連絡者氏名】 経営企画部経理担当部長 渡部 泰幸

【縦覧に供する場所】 神鋼商事株式会社 東京本社
(東京都中央区日本橋1丁目2番5号 栄太楼ビル)
神鋼商事株式会社 名古屋支社
(名古屋市中村区名駅2丁目45番7号 松岡ビル)
神鋼商事株式会社 神戸支社
(神戸市中央区脇浜町2丁目11番14号 神鋼ビル ネオエスト)
株式会社大阪証券取引所
(大阪府中央区北浜1丁目8番16号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第94期 第2四半期 連結累計期間	第95期 第2四半期 連結累計期間	第94期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高(百万円)	447,019	397,095	874,659
経常利益(百万円)	2,781	2,194	5,914
四半期(当期)純利益(百万円)	1,600	324	2,937
四半期包括利益又は包括利益(百万円)	1,298	556	2,912
純資産額(百万円)	27,156	27,564	28,531
総資産額(百万円)	224,715	214,894	231,406
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	18.07	3.67	33.17
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	11.3	12.0	11.5
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	3,786	1,593	8,910
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	222	1,141	4,096
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	1,873	435	180
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	14,656	17,512	17,460

回次	第94期 第2四半期 連結会計期間	第95期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	10.47	3.62

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内については震災復興関連需要などにより底堅く推移しているものの、長期化する円高や欧州の財政危機問題等に端を発した景気減速が先進国から新興国に波及してきたことなどから、予断を許さない状況が続いてまいりました。

このような環境の下、当社グループはインド・チェンナイ市近郊において、本年7月に鉄鋼厚板加工の工場建設に着手致しました。また、その設立支援と市場開拓を目的として Kobelco Trading India Private Limited チェンナイ事務所を開設するなど、アジア諸国を中心にグローバルビジネスを推進してまいりました。

しかしながら、業績につきましては主要需要家である自動車業界向けの取扱いは好調に推移したものの、海外景気の減速により鉄鋼、半導体、電機各業界の取扱いが減少したことから厳しい状況で推移しました。

この結果、売上高は397,095百万円（前年同四半期比11.2%減）、営業利益は2,477百万円（同23.5%減）、経常利益は2,194百万円（同21.1%減）となりました。なお、特別損失として、国内子会社が保有する固定資産の減損損失など341百万円を計上したことに加え、過年度法人税等として607百万円を計上したことなどから、四半期純利益は324百万円（同79.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

鉄鋼

線材製品はエコカー減税・補助金の効果により、自動車生産が好調に推移したことから取扱量が増加しました。鋼板製品は国内においては電機・建材向けの取扱量が減少し、輸出は新興国の景気減速により取扱量が減少しました。一方、チタン・ステンレス製品はエネルギー関連需要が堅調であったことから取扱量が増加しました。

この結果、売上高は127,788百万円（前年同四半期比3.7%減）、セグメント利益は1,322百万円（同4.1%減）となりました。

鉄鋼原料

輸入鉄鋼原料は価格下落に加え、取扱量が減少しました。冷鉄源は市況価格は下落しましたが取扱量は増加しました。一方、合金鉄及びチタン原料は価格が上昇したものの取扱量が減少しました。

この結果、売上高は157,172百万円（前年同四半期比15.9%減）、セグメント利益は337百万円（同28.0%減）となりました。

非鉄金属

銅製品は自動車向け端子コネクタ用銅板条の取扱量は増加しましたが、半導体向けリードフレームの取扱量が需要不振により減少しました。アルミ製品も自動車向けの取扱量は増加しましたが、印刷版、ハードディスク向けアルミ板条並びにアルミ加工品の取扱量が減少しました。また、非鉄原料も銅・アルミ地金及びスクラップの取扱量がそれぞれ減少しました。

この結果、売上高は83,254百万円（前年同四半期比17.0%減）、セグメント利益は147百万円（同69.7%減）となりました。

機械・情報

機械製品は中国向けアルミ関連加工機械の輸出や電池用材料の取扱量は増加しましたが、大型案件の減少により取扱いがほぼ横ばいとなりました。また、情報関連商品もタッチパネル用電子材料の取扱量は増加しましたが、太陽電池関連機材の取扱いが減少しました。

この結果、売上高は29,862百万円（前年同四半期比20.6%増）、セグメント利益は18百万円（同88.5%減）となりました。

溶材

溶接材料は自動車業界向けは好調でしたが、造船、化工機業界向けの取扱量が減少し、韓国、中国向けの輸出も減少しました。溶接関連機器は建設機械メーカー向けの中国での取扱いは減少しましたが、国内は増加しました。また、生産材料の取扱量は減少しました。

この結果、売上高は20,864百万円（前年同四半期比18.4%減）、セグメント利益は280百万円（同19.3%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第 2 四半期連結会計期間末における総資産は214,894百万円となり、前連結会計年度末比16,511百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものです。

(負債)

当第 2 四半期連結会計期間末における負債合計は187,330百万円となり、前連結会計年度末比15,544百万円減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金と短期借入金の減少によるものです。

(純資産)

当第 2 四半期連結会計期間末における純資産は27,564百万円となり、前連結会計年度末比966百万円の減少となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が減少したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第 2 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期末に比べ、2,856百万円増加し17,512百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は1,593百万円となり、前年同四半期比2,192百万円の減少となりました。これは、売上債権が減少したものの、仕入債務の減少とその他の営業活動によるキャッシュ・フローに含まれる預り金の減少が上回ったことが主たる要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1,141百万円となり、前年同四半期比919百万円の減少となりました。これは、有形固定資産、投資有価証券及び関係会社株式の取得による支出が増加したことが主たる要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は435百万円となり、前年同四半期比1,437百万円の増加となりました。これは長期借入れによる収入が増加したことが主たる要因です。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第 2 四半期連結累計期間における事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた問題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	270,000,000
計	270,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	88,605,625	88,605,625	東京証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部)	単元株式数1,000株
計	88,605,625	88,605,625	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年9月30日	-	88,605	-	5,650	-	2,703

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
みずほ信託銀行(株)	東京都中央区晴海1丁目8-12 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟	20,213	22.81
(株)神戸製鋼所	神戸市中央区脇浜町2丁目10-26	11,791	13.31
神商取引先持株会	大阪市中央区北浜2丁目6-18	5,883	6.64
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	東京都中央区晴海1丁目8-11	4,409	4.98
(株)三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1-2	2,068	2.33
日本マスタートラスト信託銀行(株)	東京都港区浜松町2丁目11-3	1,514	1.71
シンフォニアテクノロジー(株)	東京都港区芝大門1丁目1-30	1,500	1.69
神鋼商事従業員持株会	大阪市中央区北浜2丁目6-18	1,191	1.34
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7-1	1,092	1.23
日本生命保険(相)	東京都千代田区丸の内1丁目6-6 日本生命証券管理部内	1,067	1.20
計		50,729	57.25

- (注) 1. みずほ信託銀行(株)所有株式数のうち、退職給付信託に係る株式数は19,865千株(株)神戸製鋼所口 19,062千株、神鋼鋼線工業(株)口 803千株)、信託業務に係る株式数は348千株であります。
2. 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)の所有する株式数は、全て信託業務(信託口 1,403千株、信託口 1 502千株、信託口 2 356千株、信託口 3 410千株、信託口 4 452千株、信託口 5 343千株、信託口 6 435千株、信託口 8 347千株、信託口 9 161千株)に係るものです。
3. 日本マスタートラスト信託銀行(株)所有株式数のうち、退職給付信託に係る株式数は200千株(小池酸素工業(株)口 150千株、(株)神鋼環境ソリューション口 50千株)、信託業務に係る株式数は1,314千株であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 34,000	-	「(1)株式の総数 発行済株式」に記載のとおり - 同上
	(相互保有株式) 普通株式 25,000	-	
完全議決権株式(その他)	普通株式 88,435,000	88,435	同上
単元未満株式	111,625		同上
発行済株式総数	88,605,625	-	-
総株主の議決権	-	88,435	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄には証券保管振替機構名義の株式が4,000株含まれております。また、「議決権の数」欄に、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数4個が含まれております。

2. 単元未満株式には、当社所有の自己株式49株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数割合 (%)
(自己保有株式) 神鋼商事(株)	大阪市中央区北浜2丁目6-18	34,000	-	34,000	0.04
(相互保有株式) 大阪精工(株)	東大阪市中石切町5丁目7-59	20,000	-	20,000	0.02
日本スタッドウェ ルディング(株)	川崎市川崎区小田1丁目2-6	5,000	-	5,000	0.01
計	-	59,000	-	59,000	0.07

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,476	17,513
受取手形及び売掛金	3 148,751	3 133,663
商品及び製品	24,015	24,729
仕掛品	473	397
原材料及び貯蔵品	303	443
前払金	9,827	6,973
繰延税金資産	705	737
その他	2,377	3,017
貸倒引当金	287	243
流動資産合計	203,642	187,232
固定資産		
有形固定資産	4,258	4,320
無形固定資産	1,451	1,392
投資その他の資産		
その他	22,296	22,102
貸倒引当金	242	153
投資その他の資産合計	22,054	21,949
固定資産合計	27,764	27,662
資産合計	231,406	214,894
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 130,659	3 119,797
短期借入金	30,225	25,412
未払法人税等	997	749
賞与引当金	779	819
その他	21,145	17,076
流動負債合計	183,807	163,854
固定負債		
長期借入金	17,039	21,602
退職給付引当金	612	622
役員退職慰労引当金	30	32
その他	1,385	1,218
固定負債合計	19,066	23,475
負債合計	202,874	187,330

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	21,415	21,554
自己株式	17	17
株主資本合計	29,752	29,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	264	804
繰延ヘッジ損益	11	23
為替換算調整勘定	3,377	3,230
その他の包括利益累計額合計	3,124	4,011
少数株主持分	1,904	1,685
純資産合計	28,531	27,564
負債純資産合計	231,406	214,894

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	447,019	397,095
売上原価	436,345	386,129
売上総利益	10,674	10,965
販売費及び一般管理費	¹ 7,437	¹ 8,488
営業利益	3,237	2,477
営業外収益		
受取利息	18	22
受取配当金	224	241
持分法による投資利益	70	89
デリバティブ評価益	218	315
雑収入	276	197
営業外収益合計	808	866
営業外費用		
支払利息	351	314
売掛債権譲渡損	445	368
為替差損	245	305
雑損失	221	162
営業外費用合計	1,264	1,150
経常利益	2,781	2,194
特別利益		
会員権売却益	-	5
投資有価証券売却益	2	-
特別利益合計	2	5
特別損失		
減損損失	-	331
投資有価証券評価損	53	3
会員権評価損	-	7
特別損失合計	53	341
税金等調整前四半期純利益	2,729	1,857
法人税、住民税及び事業税	919	934
過年度法人税等	-	² 607
法人税等調整額	148	25
法人税等合計	1,067	1,516
少数株主損益調整前四半期純利益	1,661	340
少数株主利益	61	16
四半期純利益	1,600	324

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,661	340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	406	1,077
繰延ヘッジ損益	129	35
為替換算調整勘定	99	105
持分法適用会社に対する持分相当額	13	39
その他の包括利益合計	362	896
四半期包括利益	1,298	556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,263	561
少数株主に係る四半期包括利益	35	5

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,729	1,857
減価償却費	256	355
各種引当金の増減額（は減少）	18	36
受取利息及び受取配当金	243	263
支払利息	351	314
持分法による投資損益（は益）	70	89
減損損失	-	331
投資有価証券売却損益（は益）	2	-
投資有価証券評価損益（は益）	53	3
会員権売却損益（は益）	-	5
会員権評価損	-	7
売上債権の増減額（は増加）	5,944	12,742
たな卸資産の増減額（は増加）	1,155	1,046
仕入債務の増減額（は減少）	6,665	9,024
未収入金の増減額（は増加）	131	138
その他営業活動によるキャッシュ・フロー	4,193	1,940
小計	5,503	3,343
利息及び配当金の受取額	303	298
利息の支払額	348	319
法人税等の支払額	1,672	1,729
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,786	1,593
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	449	673
有形固定資産の売却による収入	12	1
投資有価証券の取得による支出	3	278
投資有価証券の売却による収入	275	-
関係会社株式の取得による支出	-	294
短期貸付けによる支出	24	1
短期貸付金の回収による収入	5	7
長期貸付けによる支出	-	6
長期貸付金の回収による収入	135	130
その他投資活動によるキャッシュ・フロー	173	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	222	1,141

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	595	2,243
長期借入れによる収入	550	5,039
長期借入金の返済による支出	2,778	3,104
ファイナンス・リース債務の返済による支出	9	11
配当金の支払額	221	265
少数株主への配当金の支払額	9	3
少数株主からの払込みによる収入	-	153
その他財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,873	435
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	71
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,666	87
現金及び現金同等物の期首残高	12,989	17,460
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	36
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,656	17,512

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、神商コウベウエルディング㈱はエヌアイ・コウベ・ウエルディング㈱と合併したことに伴い、当社の持分比率が低下したため、連結の範囲から除外しております。なお、神商コウベウエルディング㈱は㈱コベルコ溶接ソリューションに商号変更しております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、神商コウベウエルディング㈱はエヌアイ・コウベ・ウエルディング㈱と合併したことに伴い、当社の持分比率が低下したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外し、持分法を適用しております。なお、神商コウベウエルディング㈱は㈱コベルコ溶接ソリューションに商号変更しております。

当第2四半期連結会計期間より、Kobe & Shinsho Tube Specialities Sdn.Bhd.は株式交換により、Naito Asia Sdn.Bhd.の完全子会社となったため、持分法適用の範囲から除外し、Naito Asia Sdn.Bhd.の持分比率が増加したため、新たに持分法を適用しております。

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による影響額は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。但し、一部の関係会社においては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入等に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
神鋼特殊鋼線(平湖)有限公司	282百万円	神鋼特殊鋼線(平湖)有限公司	365百万円
Shinsho K'Mac Precision Parts (Shanghai)Co.,Ltd.	45百万円	富士発條株式会社	312百万円
Hexas Precision Technologies Corp.	16百万円	Shinsho K'Mac Precision Parts (Shanghai)Co.,Ltd.	45百万円
天津神鋼電機有限公司	5百万円	Hexas Precision Technologies Corp. 他 2件	19百万円
計	349百万円	計	742百万円

2. 手形割引高及び裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
買戻条件付受取手形譲渡に伴う買戻し義務	2,121百万円		2,582百万円
輸出割引手形	168百万円		173百万円

3. 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	93百万円		2,616百万円
支払手形	1,032百万円		1,020百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
従業員給料諸手当	2,294		2,584
賞与引当金繰入額	750		819
退職給付費用	179		200
役員退職慰労引当金繰入額	2		1

2. 過年度法人税等

大阪国税局による平成24年1月からの税務調査の結果、平成19年3月に実施した当社の子会社増資につき、当社が額面で引き受けた行為が有利発行に該当し、時価との差額は受贈益として認識すべきとする更正処分を平成24年6月に受け、附帯税を含めた法人税、住民税及び事業税を全額納付いたしました。

当社は、当該取引について税務上適切に処理したと認識しており、大阪国税不服審判所に対して、審査請求を行いません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
現金及び預金勘定	14,673百万円	17,513百万円
預入期間が 3 ヶ月を超える定期預金	16百万円	0百万円
現金及び現金同等物	14,656百万円	17,512百万円

(株主資本等関係)

前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年 5 月20日 取締役会	普通株式	利益剰余金	221	2.50	平成23年 3 月31日	平成23年 6 月 9 日

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年10月28日 取締役会	普通株式	利益剰余金	265	3.00	平成23年 9 月30日	平成23年12月 5 日

当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年 5 月21日 取締役会	普通株式	利益剰余金	265	3.00	平成24年 3 月31日	平成24年 6 月11日

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	利益剰余金	265	3.00	平成24年 9 月30日	平成24年12月 5 日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	132,699	186,802	100,300	24,764	25,555	470,120	188	23,289	447,019
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	0	-	-	0	-	0	-
計	132,699	186,802	100,300	24,764	25,555	470,121	188	23,289	447,019
セグメント利益	1,379	468	488	156	347	2,839	23	82	2,781

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
 (差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	2,839
「その他」の区分の損益	23
その他の調整額	82
四半期連結損益計算書の経常利益	2,781

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	127,788	157,172	83,252	29,862	20,864	418,939	186	22,030	397,095
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	1	-	-	1	-	1	-
計	127,788	157,172	83,254	29,862	20,864	418,941	186	22,032	397,095
セグメント利益	1,322	337	147	18	280	2,106	26	61	2,194

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
 (差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	2,106
「その他」の区分の利益	26
その他の調整額	61
四半期連結損益計算書の経常利益	2,194

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機械・情報」セグメントにおいて、継続して営業損失を計上している子会社の固定資産につき、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該金額331百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	18円07銭	3円67銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,600	324
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,600	324
普通株式の期中平均株式数(千株)	88,552	88,551

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成24年10月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 配当金の総額.....265百万円
- (ロ) 1株当たりの金額.....3円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年12月5日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月12日

神鋼商事株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小野 純司 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中島 久木 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	石野 研司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている神鋼商事株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、神鋼商事株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。